



学校教育目標

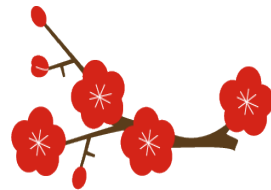
市川市立大洲中学校だより 2月号

さん さん
燦 燦

心豊かで活力のある生徒の育成



本校HP



令和3年2月2日

冬来たりなば春遠からじ

大寒が過ぎて、寒さの厳しい朝夕です。新型コロナウイルス感染拡大が懸念される日々ですが、私たち一人一人ができる最大限の感染予防を行うなど、健康に留意して過ごしたいものです。

毎年、節分の時期になると、「早春賦」の歌詞である「春は名のみ、風の寒さや」という一節が思い出されます。子どものころに、何度となく耳にしていたからであろうと思いますが、その当時、あまり意味が分からないまま聞いていたにもかかわらず、思い出すことに関して、積み重ねとはすごい効果があるのだと改めて感じます。そして、次に思い出すのが、「冬来たりなば春遠からじ」という一節です。これは、「西風の賦（ふ）（みつぎと誦むことも）」という詩の一節です。作者がイギリスの詩人であるということを考えて、洋の東西を問わず、春を待つ気持ちは同じであると感じます。そして、この言葉は、進路決定に向けた動き真っ最中の3年生だけでなく、1、2年生にとっても「厳しくつらいことだけの連続じゃないよ。努力の後に喜びや楽しさは必ずやってくるよ」と励ましているように感じます。

2月2日（火）は「節分」です。そして、明日は「立春」です。（今年はどういう年の関係で、立春が2月3日になるため、その前日にあたる節分は2月2日になっています。これは1897年以来124年ぶりのことだそうです。）「東風凍を解く（はるかぜこおりをとく）」というように、季節は着実に進んでおり、春は間違いなく近くまでやってきています。

一人ひとり、今大変なことがあっても「自分ならできる」と自分を信じる気持ちを強く持ち、しっかり乗り越えて、輝く春を迎えましょう。



「やさしさ・気配り」について思うこと

今年度の残りも約1か月半となり、まさに進級・進学準備を進める時期となりました。ぜひそれぞれが次のステージに向かって、人としてさらにひとまわり成長し、新たな生活のスタートを迎えてほしいと願っています。ここでは、次のステージをよりよくするために、人としてのやさしさ、気配りについて触れてみたいと思います。

「仕草」という言葉を知っていると思います。「身体の動きや様子」を表した言葉です。ところが、「江戸しぐさ」について研究している人によると、昔は「しぐさ」のことは「仕草」と書かずに「思草（しぐさ）」と書いていたそうです。これは、「『思草』とは、思いと行動はもともと一つである」という意味からそう書いていたようで、思いだけでもダメ、行動だけでもダメ、思いと行動が一致して初めて意味を成すということのようです。江戸しぐさでは、傘を差してすれ違うときは、互いの傘を外側に向けて、相手にぶつかったり、しずくがかかったりしないようにする気配り、狭いところですれ違うとき、互いに体を横に向けて歩いたり、相手が行き過ぎるまで待ってあげたりする気配り等、いろいろな場面でのしぐさ、気配りが紹介されています。（「江戸しぐさ」については、いろいろ意見が分かれるところがあるようですが、少なくとも、誰もが気持ちよく過ごすための知恵、また現代社会にも通じる考え方だと思います）



現在の状況はどうでしょうか。もちろん今も、上記のような気配りのできる人たちがいる一方で、なかなかそうしたことが回らない様子も見られる気がします。私自身、気を付けているつもりでも、時々配慮が足りない時があり反省です。このことと似た話として、イギリスでは「after you（どうぞお先に）」というのが社会人のマナーなのだそうですが、「最近このことがなおざりにされがちで、危機感を持っている」という話を聞いたことがあります。現代社会の各国での共通点として、「いろいろなところで今までよいとされてきた事柄が、いつの間にかあまり大切に思われなくなっている」としたらとても残念なことだと思います。

子どもたちは「親の背中(大人の姿)を見て育つ」と言われます。その背中(姿)で思いを示し、子どもたちの健やかな成長を促していくためにも、まずは大人がやさしさ、気配りのある言動を示していければと思います。そして、その様子を見ることにより、子どもたちの誰もが、同じようにやさしさにあふれ、周りへの気配りができる人として成長していければと思います。



最後に、現代社会でこそ大事にしたい「しぐさ」をいくつか紹介します。

○うかつあやまり…たとえば、相手に自分の足を踏まれたときに、「すみません。こちらがうかつでした」と自分が足を投げ出していたのを謝ることで、その場の雰囲気をよく保つこと

○七三の道…道の真ん中を歩くのではなく、自分が歩くのは道の3割にして、残りの7割は緊急時などに備え、他の人のためにあけておくこと

時間に追われ、忙しく過ごしている現代だからこそ、何気ないやさしさや気配りをうけると嬉しいもの。心に余裕を持ち、思いやりの気持ちを忘れずに過ごせば、皆の心も豊かになると思います。

2月、3月の主な行事予定 (予定が変わることもあります)

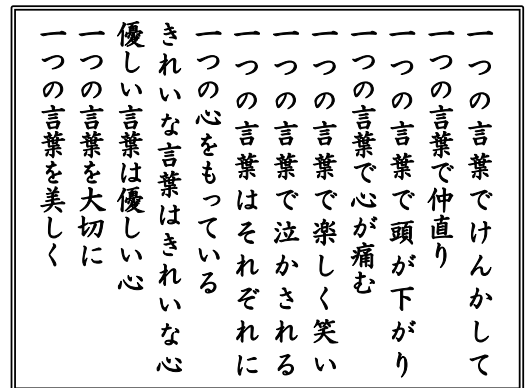
2月4日(木) 新入生保護者会	26日(金) 公立高等学校選抜追検査出願(～1日正午)
公立高等学校選抜検査郵送出願受付(4.5.8)	3月3日(水) 公立高等学校選抜追検査
15日(月) 3年生期末試験	4日(木) 3年生校外学習
16日(火) 1年生心音心電図検査	5日(金) 公立高等学校選抜検査入学許可候補者発表
18日(木) 1.2年生期末試験 英・国・理・技家	12日(金) 卒業証書授与式
19日(金) 1.2年生期末試験 数・社・保体	23日(火) 1.2年生保護者会
24日(水) 25日(木) 公立高校選抜検査	25日(木) 修了式 離任式

校長室より…

*校長室前に右のような言葉を掲げてあります。

これは、北原白秋さんの『ひとつのことば』という詩です。この詩にあるように、言葉はとても大きな力を持っていて、同じ言葉であっても、その言葉を使う場面や言い方によって、また聞く側の状況、受け取り方によって印象が全く異なってしまふことがよくあるものです。

以前学校だよりでも記載しましたが、私たちは家庭や地域、学校という社会の中で、様々な人たちと多くの事を語り合いながら生活しています。その中で、何気ない一言で喜んだり、悲しんだりします。右の詩にあるように、一人一人が「きれいな言葉」「優しい言葉」とはどんな言葉かを考えて、遣っていくことができればよいと思います。



*1月号でお知らせした学校評価アンケートの一部数値(R元年12月の数値)に誤りがありました。正しい数値は以下の通り(表内太字で記載)です。誤記載、申し訳ありませんでした。

評価項目(学校独自)			評価結果(単位%)					R元12月
			4	3	2	1	4と3の合計値	
生徒	1	お子さんは、学校の授業に満足している。	22.0	51.6	21.6	4.8	73.6	70.2
	2	お子さんは、場に応じた適切な言葉をつかっている。	44.5	47.1	7.7	0.7	91.6	88.1
	3	お子さんは、帰宅したら手洗いやうがいをしている。	74.6	20.2	4.1	1.1	94.8	79.8
	4	お子さんは、健康的であり、部活動や行事に意欲的に参加している。	54.6	34.1	8.8	2.5	88.7	89.3

(文責)